

報告第12号

令和6年度公益財団法人北播磨地場産業開発機構事業及び決算の報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、令和6年度公益財団法人北播磨地場産業開発機構事業及び決算を別紙のとおり報告する。

令和7年8月29日

西脇市長 片山 象三

# 令和6年度事業報告書及び決算報告書

公益財団法人北播磨地場産業開発機構

# 令和6年度事業報告書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

令和6年の我が国の経済活動は、個人消費や企業の設備投資が持ち直しの動きを見せ、緩やかな回復基調を維持しているものの、その勢いにはばらつきが見られる状況である。物価上昇は賃上げの動きと重なりつつも、家計への負担感が根強く、消費意欲の回復には時間を要している。また、海外経済の減速や地政学的リスクの高まりは輸出の足かせとなっており、製造業を中心に先行きに対する慎重な姿勢が続いている。これに加え、人手不足の深刻化など、我が国を取り巻く環境は厳しさが増しており、経済の見通しは不透明な状況となった。

そのような中、北播磨地域の地場産業である「播州織」については、EC市場で独自開発の最終製品や播州織生地の提案を続けながら、国内外の展示会への出展や個社での展示会開催など、販路開拓や情報発信に取り組んでいる。しかし、生産数量は対前年比87.6%と10%以上減少し、コロナ禍以前と比較すると54.1%減少と回復の見通しが立たない状況が続いており、加えて原材料費や燃料価格が高止まりし、物価高騰により利益率が下がる厳しい状況となった。

「播州釣針」については、ごみ問題やマナー違反等の影響により立入禁止区域が拡大し釣り場の減少が進んでいる。また、業況はマイナスに転じており、原油・原材料費の高騰により先行きは不透明となっている。

当財団では、地域経済の活性化には地場産業の振興が重要であると捉え、兵庫県及び地域行政の支援を受け関係業界と連携し、地場産業の振興のための効果的な事業を展開するとともに、地場製品のPR、ブランドの発信や販路拡大等の活性化事業に取り組んできた。

令和6年度の事業実施状況を次のとおり報告する。

## 〔公益目的事業〕

(公1) 北播磨地域の地場産業の普及振興事業及び人材育成事業

1 新製品・新技術及びデザインの研究開発事業（定款第4条第1号）

(1) 播州織ブランド新商品試作開発事業

「播州織」ブランドの発信と最新の先染織物播州織を市場に提案するため、播州織業界各団体から推薦を受けた委員で構成する新商品試作開発委員会を組織し、「播州織の今」をテーマに、染・織・加工の技術を駆使して変化に富んだ素材に挑戦し、多様な先染の播州織生地を試作開発した。

試作開発した播州織生地は12点で、令和6年10月に西脇市市民

交流施設オリナスホールで開催した「播州織フェア2024」で展示した。来場者向けにスワッチを作成し、QRコードを記載して各社のホームページやインスタグラムへ問合せができるようにした。  
(県の地場産業ブランド力強化促進事業の助成を受けて実施)

## 2 地場産業製品の普及事業（定款第4条第2号）

### (1) 播州織総合素材展事業（播州織フェア）（播州織）

昨年度に引き続き、播州織の普及、播州織産地のPR及び各企業の商談を目的として西脇市で「播州織フェア2024」を開催し、播州織の魅力を発信することにより需要喚起と産地の活性化を図った。

事業を進めるに当たり、産地業界（産元、染色、織布、加工）、兵庫県立工業技術センター繊維工業技術支援センター及び地域行政で実行委員会を組織して実行委員会を4回、出展者打合せ会を1回開催し、実施要領、小間レイアウト、展示方法、案内先等について、事業の企画調整と準備を行った。

出展者数は14社及び2団体で、そのうち4社及び2団体は展示を実施し、残りの10社は展示と販売を実施した。

また、産地のSDGsに関する取組や染色後の排水処理等をパネルと動画で紹介し、SDGsに取り組んでいる産地であることをアピールした。加工前と加工後の播州織生地を比較展示し、異なる風合いや機能をもった播州織生地に触れてもらうことで加工技術をPRした。

展示会名	播州織フェア2024
開催日	令和6年10月25日（金）・26日（土）
場所	西脇市市民交流施設オリナスホール
出展者数	14社及び2団体
来場者数	879人

(県の北播磨地域づくり活動応援事業の助成を受けて実施)

### (2) 播州織ブランド普及振興事業（播州織）

先染織物「播州織」のブランド及び品質の良さをPRするため、播州織ブランド普及振興事業実行委員会（県、地域行政、西脇商工会議所、播州織業界団体で構成）を組織して、事業の推進に当たった。

#### ア 播州織コレクション事業

「播州織」ブランドと播州織の良さをPRするための事業を実施した。

(7) 新商品・新技術開発事業

産地企業とデザイナーが連携し、播州織を使用した製品を開発した。デザイナーと播州織産元協同組合所属の6社とのコラボレーションにより、合計12点を試作開発した。

(4) 販路開拓事業

最終製品としての「播州織」ブランドをPRするため、新商品・新技術開発事業でデザイナーと産地とのコラボレーションにより試作開発した製品を、5年ぶりに開催したファッションショー「播州織コレクション2024」で披露した。また、ホームページとYouTubeでオンデマンド配信を行い、「播州織」ブランドをPRした。

展示会名 播州織コレクション2024

開催日 令和6年10月25日（金）

場所 西脇市市民交流施設オリナスホール

配信日 令和6年11月25日（月）から配信開始

配信場所 北播磨地場産業開発機構ホームページ等

（県の地場産業ブランド力強化促進事業の助成を受けて実施）

イ ブランド発信PR事業

(7) 北播磨地場産業開発機構ホームページにおいて、「播州織」ブランドの普及のため、ファッションショー等のイベント内容や播州織生産数量データ等の更新を行い、「播州織」ブランドを発信し、PRした。

(4) こどもカレッジ

ものづくり体験、自然・文化に触れる体験など、こどもたちが地元の産業に触れて学べるイベントに参加し、地場産業の普及及び「播州織」ブランドの認知度向上を目的とした展示、ワークショップを実施して播州織のPRを行った。

開催日 令和6年8月7日（水）～13日（火）

場所 神戸市中央区 神戸阪急本館5階

(7) ポートピアホテル夏休み「じばさん」フェア

地場産業の振興と活性化を図るため、ポートピアホテル夏休み「じばさん」フェアに出展し、「播州織」ブランドの認知向上を目的とした展示、ワークショップ、播州織生地、製品の販売を実施して播州織のPRを行った。

開催日 令和6年8月10日（土）・11日（日）

場所 神戸市中央区 ポートピアホテル本館1階

(4) ひょうごじばさんフェア2024出展事業

地場産業・播州織の振興と活性化を図るため、「国際フロンティア産業メッセ2024」内に設けられた「ひょうごじばさんフェア2024」に出展し、播州織生地、製品等を展示して播州織のPRを行った。

名 称	ひょうごじばさんフェア2024
開 催 日	令和6年9月5日（木）・6日（金）
場 所	神戸市中央区 神戸国際展示場1号館2階
来場者数	15,400人

(3) SDGs推進事業（播州織）

SDGsの視点から「播州織」ブランドの価値を高め、地場産品の魅力向上を図るための事業を3か年計画の3年目として取り組んだ。

ア SDGs実践事業

廃棄衣料再生糸及び播州織の製織工程で発生する残糸を利用し、播州織生地15点を試作開発した。また、試作開発した播州織生地を使用し、シャツ、ジャケット、ワンピース等5点の播州織製品を試作した。

イ SDGs発信事業

播州織産地の認知度向上と播州織の普及を図るため、東京インターナショナルギフト・ショーに出展し、令和4年度から令和6年度に試作開発した播州織生地、製品を展示するとともに、SDGsの取組を紹介した動画を通じてPRを実施した。

また、来場者にアンケートを実施し、回答者にはエコバック等のノベルティを配布し、播州織の普及に努めた。

開 催 日 令和7年2月12日（水）～14日（金）

場 所 東京都江東区 東京ビックサイト

来場者数 143,070人

（県のじばさん兵庫SDGs推進事業の助成を受けて実施）

(4) 播州織相談員事業（播州織）

播州織に関する相談員を設置し、西脇市内の播州織関連企業等の競争力強化及び播州織の振興を図った。

ア 播州織の競争力強化に関すること。

イ 播州織ファッションショーに関すること。

ウ 播州織のPRに関すること。

エ 播州織の振興に関すること。

相談回数 合計61回

(5) 播州釣針地場産業展出展事業（釣針）

播州釣針及び地域ブランド「播州毛鉤」の普及・PRのため、各種展示会に積極的に出展し、市場関係者及び消費者の関心を高め需要拡大の機会の創出を図った。

ア にしわき産業フェスタ

開催日 令和6年11月17日（日）

場所 西脇市市民交流施設

来場者数 約8,000人

内容 播州釣針及び釣針製品の展示及び伝統工芸士による播州毛鉤の製作実演

イ 伝統工芸ふれあい広場

出展ブースが狭く、製作実演が不可能であったため、出展を辞退した。

ウ 釣りフェス2025

開催日 令和7年1月17日（金）～19日（日）

場所 パシフィコ横浜展示ホール

来場者数 35,708人

内容 伝統工芸士による播州毛鉤の製作実演

(6) 播州釣針普及事業（釣針）

播州釣針をPRし、消費者ニーズを把握するとともに、釣り人口を拡大して播州釣針の販売促進を図るための事業を実施した。

ア 稚魚の放流事業（マコガレイ）

開催日 令和6年6月5日（水）

場所 武庫川河口周辺、神戸市立平磯海づり公園周辺、加古川海洋文化センター護岸

参加者数 53人

イ 鮎の毛鉤釣り大会

開催日 令和6年6月16日（日）

場所 神奈川県相模原市・相模川

参加者数 50人（秋田県・栃木県・東京都・神奈川県・静

岡山・石川県ほか)

ウ ファミリー海釣り教室  
台風の影響により中止

エ 東京インターナショナルギフトショー春2025  
開催日 令和7年2月12日(水)～14日(金)  
場所 東京都江東区 東京ビックサイト  
来場者数 143,070人  
内容 播州毛鉤のパフレットの配布

3 地場産業の経営者、技術者等の研修事業(定款第4条第4号)

(1) 人材育成事業(播州織)

「播州織」ブランドの産地生産体制の維持には産地の内部基盤を強化する必要があることから、企画力や事業承継のためのセミナー等を実施した。

ア テキスタイル・製品づくりへの企画力・デザイン力の習得セミナー

テーマ 2025春夏 VICE VERSA ヴァイサ・ヴェルサ逆もまた然り

開催日 令和6年4月25日(木)

講師 池西 美知子氏(クリエイティブディレクター)

場所 兵庫県立工業技術センター繊維工業技術支援センター

参加者数 24人

イ 異業種交流

テーマ 事業承継してからの自社ブランドの設立・海外展開

開催日 令和7年2月26日(水)

講師 月城 亮一氏(株式会社月城ニット代表取締役社長)

場所 兵庫県立工業技術センター繊維工業技術支援センター

参加者数 19人

(県の地場産業ブランド力強化促進事業の助成を受けて実施)

〔収益等事業〕

## その他の事業

(他1) 地場産業振興のための情報の収集提供に関する事業 (定款第4条第3号)

### 1 播州織情報収集事業 (播州織)

播州織の生産状況や出荷状況などの情報を迅速に把握し、生産の効率化を図るため、提携している一般財団法人メンケン品質検査協会や業界団体等の各関係機関でまとめたデータ等を定期的に収集し、行政機関や関係先等の産地内外に提供した。

(他2) 地場産業振興のための調査事業 (定款第4条第5号)

### 1 戦略推進事業 (播州織)

#### (1) 播州織ビジョン委員会 (播州織を守る会)

数年間にわたり運営会議や各種ワーキンググループで検討され、播州織ビジョン委員会として報告された「播州織への提言」の内容、①ブランド管理、②播州織ブランドの外部発信力強化、③播州織ブランド内部基盤強化等について、実施状況を見守る。

#### (2) 産地間交流事業

地場産業「播州織」振興のための情報収集を目的に、他産地との「産地間交流事業」を実施した。

#### ア 奈良県靴下産地の工場見学、交流会

開催日 令和6年11月27日(水)

場所 日本ニット株式会社(香芝市磯壁)  
株式会社鈴木靴下(磯城郡三宅町小柳)

参加者数 15人

(他3) 地場産業製品の普及に関する事業 (定款第4条第2号)

### 1 縫製品PR事業 (播州織)

播州織縫製品等の展示を行い、消費者に向けてPRし、需要拡大の機会を創出した。

#### (1) PR事業

#### ア にしわき産業フェスタ

開催日 令和6年11月17日(日)

場所 西脇市市民交流施設

来場者数 約8,000人

内容 播州織を使用した製品及び生産工程のパネル等を展示並びに播州織の端切れを使用したワークショップを実施し、来場者にPRした。

# 令和6年度収支決算書

## 貸借対照表

(令和7年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	87,740	112,414	△ 24,674
普通預金	6,841,594	3,740,373	3,101,221
定期預金	25,003,000	25,000,000	3,000
未収金	2,067,538	4,845,578	△ 2,778,040
流動資産合計	33,999,872	33,698,365	301,507
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	205,000,000	205,000,000	0
基本財産合計	205,000,000	205,000,000	0
(2) 出資金			
出資金	1,200	1,200	0
出資金合計	1,200	1,200	0
固定資産合計	205,001,200	205,001,200	0
資産合計	239,001,072	238,699,565	301,507
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	122,571	△ 122,571
預り金	1,037,249	1,037,548	△ 299
流動負債合計	1,037,249	1,160,119	△ 122,870
負債合計	1,037,249	1,160,119	△ 122,870
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	237,963,823	237,539,446	424,377
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	237,963,823	237,539,446	424,377
負債及び正味財産合計	239,001,072	238,699,565	301,507

# 正味財産増減計算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	5,365,660	4,463,681	901,979
基本財産利息収入	5,365,660	4,463,681	901,979
受取補助金等	16,851,612	17,365,087	△ 513,475
ブランド力強化促進事業補助金	3,400,000	3,400,000	0
SDGs推進事業補助金	2,671,612	2,955,087	△ 283,475
地場産業等活性化支援補助金	0	500,000	△ 500,000
北播磨地域づくり活動応援事業補助金	300,000	0	300,000
団体補助金	100,000	130,000	△ 30,000
地方公共団体補助金	10,380,000	10,380,000	0
受取負担金	5,010,000	5,120,000	△ 110,000
分担金収入	5,010,000	5,120,000	△ 110,000
雑収益	65,275	16,258	49,017
受取利息	20,702	16,258	4,444
雑収入	44,573	0	44,573
経常収益計	27,292,547	26,965,026	327,521
(2) 経常費用			
事業費	16,950,750	17,225,187	△ 274,437
謝金	60,000	0	60,000
報償費	1,000,000	1,000,000	0
旅費	1,154,440	1,120,980	33,460
会議費	11,660	2,420	9,240
通信運搬費	85,292	91,362	△ 6,070
印刷製本費	391,776	141,064	250,712
消耗品費	116,926	119,335	△ 2,409
賃借料	27,400	9,600	17,800
会場整備費	32,100	68,200	△ 36,100
広告宣伝費	137,000	0	137,000
外注加工費	264,000	264,000	0
役務費	264,000	264,000	0
原材料費	353,500	348,000	5,500
負担金支出	0	244,860	△ 244,860
雑費	16,198	0	16,198
支払手数料	3,520	2,860	660
繰入金支出	13,032,938	13,548,506	△ 515,568
管理費	9,917,420	8,845,654	1,071,766
給料手当	5,899,588	5,166,558	733,030
福利厚生費	1,072,355	983,294	89,061
通勤費	138,000	120,625	17,375
会議費	1,437	7,870	△ 6,433
旅費交通費	218,458	112,480	105,978
通信運搬費	70,951	75,354	△ 4,403
消耗品費	411,283	187,499	223,784

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
印刷製本費	9,900	22,440	△ 12,540
賃借料	1,173,034	1,220,198	△ 47,164
共益費	309,174	308,237	937
諸謝金	149,820	238,260	△ 88,440
負担金支出	171,000	166,000	5,000
支払退職金	0	16,680	△ 16,680
雑費	292,420	220,159	72,261
経常費用計	26,868,170	26,070,841	797,329
当期経常増減額	424,377	894,185	△ 469,808
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	424,377	894,185	△ 469,808
一般正味財産期首残高	237,539,446	236,645,261	894,185
一般正味財産期末残高	237,963,823	237,539,446	424,377
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	237,963,823	237,539,446	424,377

# 財 産 目 録

(令和7年3月31日現在)

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金	87,740
普通預金	三井住友銀行西脇支店	運転資金	6,669,789
普通預金	商工中金神戸支店	運転資金	46,747
普通預金	大和ネクスト銀行	運転資金	41,821
普通預金	みのり農業協同組合	運転資金	83,237
定期預金	みのり農業協同組合	運転資金	25,003,000
未収金	基本財産運用益	運転資金	2,067,538
流動資産合計			33,999,872
(固定資産)			
基本財産	投資有価証券	債券	205,000,000
その他固定資産	出資金	県火災共済(協)	1,200
固定資産合計			205,001,200
資産合計			239,001,072
(流動負債)			
預り金			1,037,249
流動負債合計			1,037,249
負債合計			1,037,249
正味財産			237,963,823

令和6年度事業別決算額説明

(単位：円)

区分	事業名	科目	予算額	決算額	備考	
(公1)	新商品・新技術及びデザインの研究開発事業	播州織ブランド新商品試作開発事業	繰入金支出	1,192,000	1,188,739	特別会計へ
			合 計	1,192,000	1,188,739	
北播磨地域の地場産業の普及振興事業及び人材育成事業	地場産業製品の普及事業	播州織総合素材展事業（播州織フェア）	会 議 費	3,000	0	実行委員会等賄費
			通信運搬費	3,000	1,100	郵送料
			賃 借 料	8,000	5,500	会議室等借料
			繰入金支出	5,087,000	5,083,396	特別会計へ
			合 計	5,101,000	5,089,996	
		播州織ブランド普及振興事業	旅 費	82,000	81,480	職員他旅費
			会 議 費	3,000	2,200	委員会賄費
			通信運搬費	10,000	6,138	郵送料
			印刷製本費	184,000	183,700	パンフレット印刷費
			消耗品費	4,000	3,190	用紙代等
			広告宣伝費	137,000	137,000	パネル、チラシ等
			支払手数料	1,000	660	振込手数料
			繰入金支出	3,501,000	3,498,567	特別会計へ
			合 計	3,922,000	3,912,935	
		SDGs推進事業	繰入金支出	3,015,000	3,000,419	特別会計へ
			合 計	3,015,000	3,000,419	
		播州織相談員事業	報 償 費	1,000,000	1,000,000	相談員報償費
合 計	1,000,000		1,000,000			
播州釣針地場産業展出版事業	旅 費	464,000	463,780	委員旅費		
	会場整備費	33,000	32,100	展示設営費		
	原材料費	95,000	95,000	放流費		
	合 計	592,000	590,880			
播州釣針普及事業	謝 金	60,000	60,000	講師謝礼		
	旅 費	551,000	550,920	委員旅費		
	印刷製本費	209,000	208,076	チラシ印刷・折込代		
	原材料費	259,000	258,500	放流費		
	支払手数料	1,000	880	振込手数料		
	合 計	1,080,000	1,078,376			
地場産業の経営者、技術者等の研修事業	人材育成事業	会 議 費	9,000	9,460	セミナー打合せ賄費	
		繰入金支出	263,000	261,817	特別会計へ	
		合 計	272,000	271,277		
その他の事業	(他1) 地場産業振興のための情報の収集提供に関する事業	播州織情報収集事業	通信運搬費	80,000	77,174	電話回線使用料、郵送料
			消耗品費	114,000	113,736	専門紙、資料作成費
			外 注 費	264,000	264,000	ドメイン・サーバー維持管理費
			役 務 費	264,000	264,000	調査資料費
			支払手数料	2,000	1,540	振込手数料
			合 計	724,000	720,450	
	(他2) 地場産業振興のための調査事業	戦略推進事業	旅 費	59,000	58,260	職員旅費、バス代
			通信運搬費	1,000	880	郵送料
			雑 費	17,000	16,198	視察土産物代
			支払手数料	1,000	440	振込手数料
	合 計	78,000	75,778			
(他3) 地場産業製品の普及に関する事業	縫製品PR事業	賃 借 料	22,000	21,900	出展料	
		合 計	22,000	21,900		
合 計			16,998,000	16,950,750		

## 特別会計説明

### 1 播州織ブランド新商品試作開発事業

(県：地場産業ブランド力強化促進事業 国内展開事業)

収入の部

(単位：円)

科 目	決算額	備 考
繰入金収入	1,188,739	県補助金 600,000 自己資金 588,739
合 計	1,188,739	

支出の部

(単位：円)

経費区分	科 目	決算額	備 考
研究開発事業費	試織費	1,101,100	試織費
	サンプル作成費	58,575	サンプル作成費
	小 計	1,159,675	
庁費	通信運搬費	2,352	郵送料等
	消耗品費	2,462	事務用品費
	印刷製本費	15,950	スワッチ用紙印刷費
	賃借料	5,000	会議室借料
	支払手数料	3,300	振込手数料
	小 計	29,064	
合 計	計	1,188,739	

### 2 播州織総合素材展事業 (播州織フェア)

(県：北播磨地域づくり活動応援事業)

収入の部

(単位：円)

科 目	決算額	備 考
繰入金収入	5,083,396	県補助金 300,000 自己資金 4,783,396
合 計	5,083,396	

支出の部

(単位：円)

経費区分	科 目	決算額	備 考
庁費	会議費	10,692	委員会賄費
	賃借料	145,950	会場・会議室等借料
	会場整備費	2,268,750	会場設営費等
	印刷製本費	461,764	DM、チラシ等印刷費
	通信運搬費	41,364	郵送料等
	広告宣伝費	2,086,320	HP更新・管理費、新聞広告費等
	消耗品費	10,451	事務用品費
	雑費	54,585	警備費
	支払手数料	3,520	振込手数料
合 計	計	5,083,396	

### 3 播州織ブランド普及振興事業

(県：地場産業ブランド力強化促進事業 国内展開事業)

収入の部

(単位：円)

科 目	決算額	備 考
繰入金収入	3,498,567	県補助金 2,568,042 自己資金 930,525
合 計	3,498,567	

支出の部

(単位：円)

経費区分	科 目	決算額	備 考
研究開発事業費	製品制作費	440,000	製品制作費
庁費	会議費	511	委員会賄費
	通信運搬費	1,980	郵送料等
	消耗品費	2,716	事務用品費
	印刷製本費	132,000	チラシ、パンフレット等印刷費
	賃借料	55,850	会場・会議室等借料
	会場整備費	2,864,300	企画・音楽・照明等
	支払手数料	1,210	振込手数料
	小 計	3,058,567	
合 計	3,498,567		

### 4 SDG s 推進事業

(県：じばさん兵庫SDG s 推進事業)

収入の部

(単位：円)

科 目	決算額	備 考
繰入金収入	3,000,419	県補助金 2,671,612 自己資金 328,807
合 計	3,000,419	

支出の部

(単位：円)

事業区分	経費区分	科 目	決算額	備 考
SDG s 実践事業	旅費	旅費	9,500	役職員旅費
	研究開発事業費	製造・改良・加工・検査・実験費	874,907	生地試作費 824,417
				サンプル作成費 22,990 小物等作成費等 27,500
	庁費	消耗品費	1,140	コピー代等
		賃借料	5,500	会議室借料
		通信運搬費	1,100	郵送料
		会議費	792	会議賄費
		支払手数料	2,530	振込手数料
小 計		895,469		
SDG s 発信事業	旅費	旅費	301,524	役員・職員等旅費
	庁費	通信運搬費	61,450	郵送料等
		展示会等出展費	1,540,049	展示会出展料、会場整備費等
		広報費	198,000	会場誘導看板費
		消耗品費	1,452	事務用品費
		支払手数料	2,475	振込手数料
小 計		2,104,950		
合 計		3,000,419		

5 人材育成事業

(県：地場産業ブランド力強化促進事業 人材育成事業)

収入の部 (単位：円)

科 目	決算額	備 考
繰入金収入	261,817	県補助金 231,958 自己資金 29,859
合 計	261,817	

支出の部 (単位：円)

経費区分	科 目	決算額	備 考
謝金	謝金	220,000	講演会講師謝礼
旅費	旅費	10,780	講師旅費
庁費	会議費	4,133	会議賄費
	通信運搬費	1,662	郵送料等
	印刷製本費	22,712	資料等印刷費
	雑費	1,870	宿泊キャンセル料
	支払手数料	660	振込手数料
	小 計	31,037	
合 計		261,817	